



平成28年3月29日

各位

会社名 株式会社ロジネットジャパン
代表者名 代表取締役社長 木村 輝美
(コード番号 9027 札証)

問合せ先 経営企画・広報担当部長 斎藤 恭祐
(TEL 011-251-7755)

中期経営計画“第2の創業期へ”について

当社は、平成28年3月29日開催の取締役会において、平成28年度から平成30年度までの3年間を対象期間とする、ロジネットジャパングループの中期経営計画「第2の創業期へ」を同日付けで決定しましたのでお知らせ致します。

記

I. 基本方針

今後の我が国の物流業界は、人口減少による国内輸送需要の減少、ドライバー不足や関係法令強化に対応するコスト増大を背景に厳しい環境が続くと予想されております。また、経済情勢や消費動向の変化に伴って、我々物流業界に対する社会全体のニーズが大きく変わっていくものと考えております。

当社は平成17年に持株会社に移行してから今期で10年を迎えましたが、大きく変化する社会情勢や経営環境に即応して変革を進め、収益性を高めることが必須であると考え、本年4月からの事業年度を「第2の創業期」と位置付け、平成28年度から平成30年度までの3事業年度を対象期間とする中期経営計画を策定致しました。

この中期経営計画では「Slim & Strong & Speed」という当社グループの経営スローガンに基づき、経営の柔軟性と機動力を活かして組織・運営体制・事業構成の変革を迅速に進めてまいります。基本方針となる

- (1) 時代に即した魅力的かつ高品質な物流サービスの提供と収益性の向上
- (2) 更なる成長に向けた経営基盤の強化
- (3) 連結経営体制の強化と経営インフラ整備

の3点をテーマに、あらゆる課題にいち早く挑戦して変革を遂げ、盤石な経営基盤を確立して、社会から必要とされる総合物流企業を目指してまいります。

Ⅱ.中期経営計画“第2の創業期へ”の要旨

(1) 時代に即した魅力的かつ高品質な物流サービスの提供と収益性の向上

- ① 鉄道輸送・シャーシ輸送・航空便などの無人長距離輸送モードの優位性を活用した営業展開
- ② BtoC配送などの成長分野への積極参入と積極投資による輸送インフラ拡充
- ③ 提案営業戦力の充実による東名阪エリアでの積極営業の展開
- ④ 特別積み合せトラック事業の再構築（適正運賃の収受・不採算部分の見直し・適正運用への体制変更等による収益向上）
- ⑤ 重量物、エコビジネスなどの特殊輸送事業の深耕
- ⑥ 高品質な輸送サービスを提供するための品質管理システムの確立及び運用の強化

(2) 更なる成長に向けた経営基盤の強化

- ① ドライバー不足・高齢化への対応を見据えた組織体制・人事制度の構築
- ② 本州地区での事業規模拡大に向けた東名阪での物流コア拠点整備
- ③ M&A、業務提携による全国を網羅する物流ネットワークの構築
- ④ 旅行事業・ゆきのみず（飲料水）販売事業・引越事業の拡販施策実施によるサテライト事業の収益向上

(3) 連結経営体制の強化と経営インフラ整備

- ① グループ全体の管理コスト圧縮と、連結経営強化のための社内インフラ整備（情報システム・会計システム・ファイナンス・事務作業等の一元管理化）
- ② コーポレートガバナンス・内部統制の更なる強化とIRの充実
- ③ 社内教育制度の充実による人材育成

Ⅲ.中期経営計画の最終事業年度における経営数値目標

	平成27年度業績予想 (既発表)	平成30年度目標
売上高	535億円	600億円以上
営業利益	12.3億円	21億円以上
経常利益	12.0億円	21億円以上（経常利益率3.5%以上）
自己資本比率	22.5%	35.0%以上

※平成27年度業績予想の「自己資本比率」の数値は、平成27年度（平成28年3月期）の第3四半期連結会計期間の実績数値です。

以上